

重監房資料館★前橋出張トークイベント開催のお知らせ
「苅雄二さん、藤田三四郎さん、山下道輔さんの思い出を写真で語る」
～栗生楽泉園、重監房復元事業と発掘調査、そして多磨全生園～

日 時 2024（令和6）年10月27日（日） 13時30分～15時30分（開場13時）

参加費 無 料（先着100名様）

会 場 上毛新聞社上毛ホール（前橋市古市1-50-21：J R両毛線・上越線「新前橋駅」より徒歩4分）

※会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの際は、ホテルラシーネ新前橋駐車場など、近隣の駐車場のご利用をお願い致します。

登壇者のプロフィール

黒崎 彰（写真家 日本写真家協会会員）



くろさき・あきら
新潟県小千谷市生まれ。
2002年多磨全生園の山下
道輔さんと知り合う。山下
さんを通じて、栗生楽泉園
の苅雄二さんとも出会い、
交誼を続けた。2013年夏、
重監房跡の発掘を記録に収
め、翌年の資料館開館にむ
けて、出土遺物の写真撮影

にも協力。2020年重監房資料館は企画展で黒崎彰写真展を開催。現在、全国のハンセン病療養所を記録する撮影旅行を鋭意継続中。

角田隼也（上毛新聞社総務局総務部）



つのだ・しゅんや
群馬県吾妻郡東吾妻町生まれ。2003年に栗生楽泉園を初訪問する。以来藤田三四郎さん、苅雄二さんとも親交を深めて、同時に国内外のハンセン病療養所を訪ねる。2010年上毛新聞社入社。記者としてハンセン病問題について取材し、重監房復元をスクープ。資料館開設や発掘調査についても記事を書く。2019年より現職。趣味は釣り、1児の父。

司会・進行：黒尾和久（重監房資料館部長）

主 催：重監房資料館 後 援：上毛新聞社

お問合せ 重監房資料館（担当：黒尾・鎌田・香川） 電話0279-88-1550

★「トークイベント」の事前学習に、上毛新聞社ポッドキャスト「うまがまう」（2024年5月3日配信）を是非、ご視聴ください。「#108ハンセン病を直視して 草津町の『重監房資料館』開設10周年」

出演：黒尾和久、聴き手：角田隼也・日野原明

